

業績／主要な経営指標等の推移

Sendai Bank

経済環境

平成28年9月期における国内経済は、個人消費や企業収益の改善に足踏みがみられ、一部に力強さを欠いたものの、雇用情勢・所得環境は改善傾向が続いていることから、総じて緩やかな回復基調で推移しました。先行きについては、円高の進行、中国経済の減速、英国のEU離脱決定などの影響から不透明な状況と

なっております。

当行の営業エリアである宮城県経済は、生産が持ち直し、求人倍率が高水準で推移するなど、緩やかに回復しているものの、住宅・公共投資や個人消費など一部に弱い動きがみられました。

仙台銀行

■業績

このような経済環境のなか、当行は、「じもとグループ」として、「お客さまに喜ばれ、信頼され、『じもと』とともに進化・発展する新たな金融グループを創設する」という経営理念のもと、グループ役職員が一丸となって宮城と山形をつなぎ、両県の経済交流の発展に貢献してまいりました。また、平成27年4月からスタートしたじもとグループの中期経営計画は、「本気の本業支援」と「本気の統合効果発揮」の2本柱を掲げ、県境を越えた地域金融グループの特徴を最大限に発揮するため、「本業支援」を中核とするビジネスモデルを更に進化・発展させるとともに、経営効率化・合理化に取り組むことで、更なる統合効果・相乗効果の発揮を目指しております。

損益状況につきましては、経常収益は、有価証券利息配当金や株式等売却益が減少したことなどから、前年同期比2億70百万円減少の82億39百万円となりました。一方、経常費用は、資金調達費用や国債等債券償還損、貸倒引当金繰入額が減少したことなどから、前年同期比5億83百万円減少の65億79百万円となりました。

その結果、経常利益は、前年同期比3億13百万円増加の16億60百万円となりました。

また、中間純利益は、前年同期比2億78百万円増加の15億16百万円となりました。

主要な経営指標等の推移（単体）

（単位：百万円）

決算年月	平成26年9月期	平成27年9月期	平成28年9月期	平成27年3月期	平成28年3月期	
経常収益	8,576	8,509	8,239	16,485	16,991	
経常利益	1,925	1,347	1,660	3,228	2,431	
中間（当期）純利益	2,159	1,238	1,516	3,376	2,115	
資本金	22,485	22,485	22,485	22,485	22,485	
発行済株式総数	普通株式	7,564 千株	7,564 千株	7,564 千株	7,564 千株	
	第1種優先株式	20,000 千株	20,000 千株	20,000 千株	20,000 千株	
純資産額	46,645	48,333	48,520	48,765	48,159	
総資産額	1,166,494	1,140,691	1,100,219	1,139,658	1,090,044	
預金残高	880,978	892,227	904,311	870,931	878,670	
貸出金残高	590,873	632,231	656,441	618,869	653,186	
有価証券残高	406,039	400,425	348,248	429,080	378,902	
1株当たり純資産額	2,197.43 円	2,420.64 円	2,446.15 円	2,477.71 円	2,397.65 円	
1株当たり中間（当期）純利益金額	282.48 円	160.72 円	198.34 円	440.37 円	273.66 円	
潜在株式調整後1株当たり中間（当期）純利益金額	88.09 円	62.94 円	75.55 円	147.63 円	107.51 円	
1株当たり配当額	普通株式	17.87 円	17.87 円	17.87 円	35.75 円	35.75 円
	第1種優先株式	1.12 円	1.12 円	0.82 円	2.25 円	2.25 円
単体自己資本比率（国内基準）	10.55 %	10.10 %	9.66 %	10.23 %	9.85 %	
従業員数 （外、平均臨時従業員数）	727 人 (340 人)	719 人 (311 人)	704 人 (297 人)	704 人 (331 人)	690 人 (311 人)	

（注）1. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 単体自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく平成18年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は国内基準を採用しております。